

Approach

発行日 2020年6月1日(月) 第18号



中学校卒業後の進路をどう選ぶか

「4月だ！最高学年だ！新しいクラスで頑張るぞ！」、と思った矢先に休校となり、「これからどうなるの？」「卒業後の進路はどうなるのだろうか？」と不安に思うことの多かった2か月間だったと思います。そんな中で第1回目の進路希望調査に取り組んでもらいました。かなり悩んで書いた人が多かったと思いますが、これからの学校生活の中で、少しずつ面談や進路学習を進めていく予定ですので、気持ち新たにもう一度自分と向き合い、なぜ高校に行くのか、卒業後の進路はどう選んでいけばいいのか、ということを考えてみたいものです。

中学校卒業後の進路先を選択することは、小学校中学校と地域で過ごしてきたみんなにとって、初めての「学校選択の機会」となる人がほとんどだと思います。自分の意志と責任で、将来の自分の生き方も考えながら、卒業後の進路を考えることが大切です。

4月、5月の2か月間は、先の読めないしんどい時間でもありましたが、一方で今の自分のあり方や今後の生き方について深く考える時間にもなったのではないかと思います。

「自分はどんな人間か？」「何が得意なのか？」「どんな力をつけたいか？」「自分が考える進路先で望むことは？」など、原点に戻って自分と向き合ってみてください。その上で、どんな進路を選択したらいいのか、これからじっくり考えていきましょう。

まずは学校生活をスタートするにあたって8つの項目をチェックしてみましょう。



～自分の学習スタイルを見直してみよう～

チェック欄	チェック項目
☐	学習計画表を作り、実行できている
☐	授業の予習・復習を毎日している
☐	計画が守れなかったときは、原因を考え、計画の見直しなどの対策を講じている
☐	教科・科目ごとの自分なりの学習方法が確立されている
☐	家庭学習のスタート時間は毎日決まっている
☐	家では決まった時間に勉強を始めている
☐	決まった時間に起床・就寝している
☐	勉強についてクラスメイトとお互いに励まし合っている

自己分析をしてみよう

- 趣味や特技()
- 現在考えている進路選択
- ①中学卒業後は()
- ②将来の職業は()
- ③その職業につきたい理由やきっかけは？()
- これからの進路選択の実現に向けての、今後の努力目標を考えてみましょう。
- ①もっと伸ばしたいところ()
- ②改善したいところ()



資料

職業興味の6領域

- 現実的興味領域**
機械や物体を対象とする具体的で実際のな仕事をしたい
- 研究的興味領域**
調査や研究のような研究的、探索的な仕事をしたい
- 芸術的興味領域**
音楽、芸術、文学等を対象とするような仕事をしたい
- 社会的興味領域**
人と接したり、人に奉仕したりする仕事をしたい
- 企業的興味領域**
企画・立案したり、組織の運営や経営等の仕事をしたい
- 慣習的興味領域**
定まった方式や規則、習慣を重視したり、それに従って行うような仕事をしたい



進路学習 ～第1回進路希望調査を受けて～

進路希望調査の書き方について、第2回目に向けて確認をしてください。コード番号が間違っていたり、入試日程が同じ日の学校をいくつも書いている人がいました。

① 私立高校が未記入のケースについて

ここ数年、公立高校を第1希望として、私立高校の併願受験者は、学校全体の8割にのぼっています。担任の先生からもアドバイスをされる人が出てくると思いますが、公立高校一発合格の保証は誰にもありません。当日の体調も考えておくことが必要です。併願受験をお勧めします。第2回の希望調査に向けて検討してください。

② 公立高校の推薦入試を希望する人へ

第1希望の人しか受験できません。一般入試(学力検査)よりも推薦入試のほうが早い日程です。合格すれば必ず行かなければなりません。したがって、

第1希望 明石高校普通科 ← 一般入試です。

第2希望 明石高校美術科 ← 推薦入試です。このようなパターンを希望することはできません。この場合、明石高校美術科を第1希望に書くことになります。